

# 12月定例市議会開く

## 市政に対する 一般質問

そこが... 聞きたい



平成十七年十二月定例市議会は、十一月二十九日から十二月十四日までの六日間の会期で行われました。

市長からは、一般会計補正予算や事務手数料徴収条例の一部を改正する条例など二十八議案が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。

審議案件名とその結果については、下記のとおりです。

また、今期定例会における市政に対する一般質問は、十一名の議員によって三日間にわたり行われました。

### 平成十八年度 予算編成方針について

藤倉 宗義議員

・質問 平成十八年度予算編成における歳入見込みはどのようか。また、厳しい削減のなかで歳出をどのように編成していくのか、伺いたい。

・答弁(企画財政部長)

市税については、個人市民税定率減税の半減により、約一億七千万円程度の増収が見込めるものの、固定資産税の評価替えの影響による減収が約一億五千万円程度になる見込みである。

地方交付税については、本年度の歳入見込みに対して六%程度の減少、地方譲与税については、一億五千万円程度

の増額が見込まれる。

また、財政調整基金は、現在残高が一億三千万円あるが、来年度に備え、できるだけ積み立てに努力していきたい。

このようなことから、平成十八年度一般会計の予算規模は、本年度と同規模の百五十億円程度になる見込みである。

そして、来年度の重点施策として掲げるものは、第一に「安全・安心のまちづくり」であり、交通安全、防犯、防災などの事務を一括化し、市民との協働によるまちづくりの推進。

第二に「健康づくり」であ

り、住民検診を集団検診から医療機関での個別検診への切り替え、自動体外式除細動器の公共施設への配備。

第三は「ごみ処理対策」であり、ごみ処理対策プロジェクトの組織化による施設建設を含めたごみ処理問題への対応。

第四は「羽生駅西口周辺の整備」であり、西口周辺整備の早期完了と東口整備の推進。

第五は、「下川崎産業団地周辺整備」であり、平成十九年のイオンのオープンに併わせた周辺地域の環境整備や道路整備。

第六は「教育」、なかでも不登校や悩みを抱える児童・生徒の問題や小学生に対する犯罪の防止対策。

そのほか、農業の問題や商業の活性化など後年度の財政を考慮した予算編成に取り組んでいきたい。

### その他の質問

・市長の今後の政治姿勢について

・ETCを利用したハイウェイオアシスについて

・歳出削減の具体策について

### 審議案件と

#### その結果

(十二月定例市議会)

#### 市長提出議案

十一月二十九日 原案可決

議案第八十七号 平成十七年度羽生市一般会計補正予算

第六号

議案第八十八号 平成十七年度羽生都市計画事業南羽生土地区画整理事業特別会計補正予算 第一号

議案第八十九号 平成十七年度羽生都市計画下水道事業特別会計補正予算 第一号

議案第九十号 平成十七年度羽生市水道事業会計補正予算 第一号

議案第九十一号 羽生市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第九十二号 羽生市教育委員会委員長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

議案第九十八号 北埼玉地区視

聴覚教育協議会を設ける地方公共団体の数の減少及び

同協議会の規約の一部変更

について

議案第九十九号 埼玉県市町村

職員退職手当組合を組織する

地方公共団体の数の減少及び

同組合の財産処分について

について